

## 希学園 第395回 小6公開テスト 解説動画

下記、URLよりご視聴いただけます。

動画タイトル	URL
第395回公開テスト 小6国語 解説動画(2025年4月13日実施)	<a href="https://vimeo.com/1074563275/f11db4c8a2">https://vimeo.com/1074563275/f11db4c8a2</a>

1 a 総計  
b 気候  
c 新参

2 A イ B キ C ア  
3 I ウ II エ III ア  
4 体の外側

5 人間と与え  
6 腸内細菌  
7 ア

(完答)

(完答)

8 肥満  
9 免疫とこし  
10 (記述題)  
11 ア・エ

(完答)

(順不同・完答)

2 a 事典  
b 意外  
c 救急

2 エ  
3 A め B ケ C あ D そ  
4 I ウ II ア III エ IV 才

(完答)

5 ケースワーカー(さん)  
6 ③ 高校とめる ④ 世帯

(別解…担当ケースワーカー)

(完答)

7 (記述題)  
8 ちゃんとした大人  
9 ウ  
10 (記述題)

1 疾病や肥満にならないためにも、自分の体だけ  
けでなく腸内フローラのことも考えて、毎日  
の食事に気を使うべきである。

(同意可)

2 あきらめていた大学への進学の可能性を感じられてうれしく  
なり、泣きそうになっているということ。

(同意可)

10 将来のことをあきらめていた自分のため  
にわざわざ勉強し、自分が知らなかった  
制度の例外や裏技を教えられた山之内に  
感謝する気持ち。

(同意可)

[配点]	
1	1
10	2
その他	
2	2
7	1
10	3
各4点×14	各2点×13
各6点×3	各6点×3
各4点×14	各6点×3
56点	18点
	26点

① (金子康子・日比野拓『ぼくらは「生物学」のおかげで生きている』より)

- 1 a 「総計」は全体の数をまとめて計算すること。また、その合計。b 「気候」は「起工」「機構」など、いくつか同音異義語があるので気をつけること。c 「新参」は新しくやってきたという意味。
- 2 ア「不毛」：一字目が打ち消し。イ「反論」：一字目が二字目を修飾している。ウ「乗車」：二字目が一字目の対象・目的となっている。エ「人造」：一字目が主語、二字目が述語になっている。オ「雑然」：二字目が意味を添える字になっている。カ「名実」：一字目と二字目が対になっている。キ「健康」：一字目と二字目の意味が似ている。
- 3 Iはあとに問いかけがあるので話題を切り替える「では」が入る。IIは胞胚の形について言いかえて説明しているので「つまり」が入る。IIIは直前の内容と直後の内容が対比になっているので「一方」が入る。
- 4 「腸はもともと」という言葉を頼りにする。直前の段落に「昔、腸は皮膚と同じく『体の外側』だった」とある。
- 5 この比喩が述べられている時点で、「実際にはどういふことなのか」をイメージしながら読んでおくべきだろう。直前に「一日に三回も」とあるので、一日三回の食事のことだとわかる。あとはそれに該当する部分を結びつけるだけである。
- 6 一行前に「人々(細菌)」とあるので、細菌であることは明らかである。その上で、四字という字数に合うものをさがす。
- 7 傍線部を含む一文を読む。「少しの病原性細菌なら：感染しないのは、すでに棲みついている腸内細菌のおかげ」とあるので、これに該当するのはアである。イクエはこの後に語られる別の見返りである。
- 8 「面白いことに：」という言い方からも、この⑤を含む文は「この後に話す内容について述べている文」だということがわかる。後続の二段落で述べられている内容は「肥満」に関することである。
- 9 線⑥を含む段落と直前の段落は「肥満」についての段落であり、さらにその前の段落にさかのぼると、「疾病」についての話がある。「腸内フローラのバランスが崩れると、：：：がんなどを引き起こす」という部分が——線⑥とほぼ同じ内容になっている。
- 10 本文の最後が「：が大切なのです」という文末になっているので、締めくくりが主張になっていることが見て取れる。基本的には最後の段落を軸にして、「なぜ腸内細菌に気を使うべきなのか」まで明らかにしておくことよいだろう。
- 11 アは「皮膚1cm平方あたり、1000〜1万個の細菌が棲息」「腸内にはなんと100兆個以上」という部分から計算すると「百億倍以上」で正しいと言える。イは下痢について「お上が町すべてを強制排除します」とあり、「警官(免疫細胞)」と「お上」は異なるので違うと言える。ウは「すべての原因」が間違っている。エは肥満についての実験とおりのことを述べているので正しい。

② (安田夏菜『向こう岸』より)

- 1 a 「事典」は事物を表す語をならべて解説している本。言葉の解釈を主とする「辞典」と区別するために生まれた語なので、ここは分けておきたい。b 「意外」は「以外」との区別を確実にしておいてほしい。c 「救急」は「急場の難儀を救うこと」であり、「消火」や「読書」と同じく、下の字が上の字の対象・目的であるので一字目が「救」であると覚えておけば上下の入れかえは防げる。
- 2 「正しくないもの」である。アベルは片言かもしれないが、筆談でノートに日本語を書いているので「使えない」のではない。
- 3 Aの「くめかす」というのは名詞や形容動詞の語幹などに付いて、「そのように見せかける」「そのようにする」「それらしく振舞う」などの意味を持つ。B「ケース」は「場合」。C「あつけにとられ」は「意外なことに出会い、驚きあきれる状態」。D「そっけない」は「思いやりや温かさが無い」という意味だが、ここでは「なんとも思っていないような」というくらいの意味だろう。
- 4 Iはぎつしり書き込まれた細かい字を見たところなので、めまいがするようすを示す「クラクラ」が入る。IIは疲れや寝不足などで目がはつきりあけられず、しきりにまばたきなどをしているさまを示す「ショボショボ」が入る。IIIは混乱してぼんやりしているさまなので「ポカンと」が入る。IVはよどみなく暗唱しているさまを表す「スラスラと」が入る。
- 5 「ケースワーカーが言ったことと、話が違うじゃん」「きみのケースワーカーさんは、まちがったことは言っていない」など、ケースワーカーの言っていた話を元にして樹希は「貯金や進学ができない」と思っていたことがわかる。ちなみに「一語」なので、「若い」などをつけてはいけない。
- 6 「高校生が、自分の将来のためにアルバイトをしてお金を貯める。それは数年前から、例外として：」というところから「例外」はわかる。続きを読んでいくと山之内が裏技について「きみが今の家族から抜けてしまえばいい」と言い、それを後で「世帯分離」と説明していることからわかる。
- 7 「鼻の奥がツンとした」というのは泣きそうになっていることを示す典型的な表現である。あくまでこれを説明する問題であることを忘れずに、樹希の気持ちを加えて説明する。「あたし：：：、進学できんのかよ」と自分で言った言葉に泣きそうになったのだから、この涙はあきらめていた夢の実現の可能性を感じた「うれし涙」だと言えるだろう。
- 8 すぐ後に「看護師に：：：、なれたらなと思ってたんだ」とあるので、「なりたいもの」自体は「看護師」であることが明らかなので、八字で抜き出すことはできない。そのまま読み進めていくと、看護師になりたいと思うきっかけとなったある看護師について「初めてちゃんとした大人を見た：：：あの人もたたく看護師になろう」と言っており、さらに後に「なれるだろうか？：：：『ちゃんとした大人』に、あたしは近づくことができるだろうか」とある。
- 9 すぐ後の「なれるだろうか？ 実現するのだろうか？」というところから、看護師になれるかもしれないという希望こそが「胸がじんと熱くなっ」ている原因である。それを最もストレートに表しているのがウである。
- 10 山之内のおかげで、将来に希望が持てたのだから、「感謝」の気持ちがあるだろう。「おまえみたいなやつ」とはどういうやつなのか、山之内がしてくれたことを本文全体からつかもう。